

●優秀賞（農林水産大臣表彰）

あぐにそののうぎよそのせいかつけんきゅうかいかこうぶ
栗国村農漁村生活研究会加工部

あぐに
（沖縄県 栗国村）

もちきびかりんとう

◇活動の経緯、内容

この活動の母体は、昭和32年につくられた生活改善実行グループである。昭和60年代の「ふるさと一村一品運動」が契機となり、「ささげようかん」や「ソテツ味噌」といった特産品を開発してきた。そして平成2年、村の特産品加工センターの建設に際して、島の特産品開発の強化策として専門部会の発足が検討され、同グループ内に13名からなる「加工部」が設置された。

現在は加工部員が加工センターの管理運営を受託する形で特産品開発に取り組んでいる。



雇用の場が少なく女性の経済的自立が難しい離島において、地元の食材を活かした起業グループを立ち上げ、年間1千万円近い売上げを出すこの事例は、安定した加工・経営技術の面も含めて、県内の女性起業の優良事例としても高く評価されているものである。

また、加工原料として使われる地場産の「もちきび」も、このグループの活躍とともにその生産が拡大しており、地域農業の振興にも大いに貢献している。

◇代表作品の紹介

もちきびかりんとう：

島での栽培が一時途絶えていた「もちきび」を復活させるために取り組まれた「かりんとう」は、気候にあわせた日持ちする加工品として研究・開発されたものである。同じく島の特産である黒砂糖を使うことで風味よく食べやすい商品として好評である。

現在では、「ささげようかん」や「ソテツ味噌」とともに島の主要な特産品のひとつとなっている。

